



CABおよびSABの  
発行ハイライト



気候銀行ロードマップ



グリーンな復興と  
EUタクソノミーの採択



ビオンテック社の  
ワクチン開発



初のSAB枠組みを公表



### 2020年CAB / SABの配分



77 のプロジェクト



24 か国



46 億ユーロの配分



33 のプロジェクト



22 か国



12 億ユーロの配分



# 債券発行ハイライト

## EIBによる持続可能性関連の資金調達は2020年初来で105億ユーロと過去最高を記録

理事会が気候銀行ロードマップを承認 — パリ協定への適合とEUタクソノミーとを統合

EIB **気候銀行ロードマップ2021-2025**は、2020年11月11日に理事会で採択されました。この文書は、欧州グリーンディールを支援するために2019年11月に定めた目標を当行が達成する方法について詳細に提示しています。同ロードマップはEIBに対し、気候関連活動に対する、また環境の持続可能性に対する（「グリーンな」）ファイナンスの追跡方法を、2020年7月施行のいわゆるEUタクソノミー規則で定める枠組みに準拠させることを求めるものです。EIB理事会は2019年に、「2020年末までにすべての[EIBの]ファイナンス活動をパリ協定の原則と目標に沿って行うようにする」と約束しました。

EIBは、持続可能性関連の調達手段である「持続可能性への認知度を高めるための債券」と「気候変動への認知度を高めるための債券」(SABおよびCAB)の調達資金使途文書を、近く制定される予定の「EU持続可能性に関するタクソノミー」に適合させた最初の発行体(SABが2018年、CABが2019年)であり、これによってEUの政策目標とEIBの資金調達・融資活動とが直接結び付きました。当行は、欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準および将来のいかなるソーシャルボンド基準の要件にも、CABおよびSABの枠組みを準拠させる予定です。

EUタクソノミー規則が採択された当日(6月18日)に**新規**発行された**2035年償還の10億ユーロのCAB**は、CABの適格範囲を再生可能エネルギーやエネルギー効率を越えて、さらなる2領域の気候変動緩和に貢献するEIB活動にまで拡大することを明らかにしました。その2領域とは、(1)革新的な低炭素技術の研究、開発、展開と、(2)電気鉄道インフラ、電気車両、電気バスです。

一方、**(30億スウェーデン・クローナの3年物SABと10億ユーロの8年物SAB)**の新規発行で最初に明らかにしたように) SABの適格範囲は、国家保健当局・病院、研究施設、ネットワークに対する支援など、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)との闘いに直接関連するEIBの融資分野に拡大されています。関連するスクリーニング基準は近く制定予定の「EU持続可能性に関するタクソノミー(EUST)」の考え方に準拠しています。

種類	ISIN	発行日	満期日	利率	通貨	発行額 (各通貨・百万)	ユーロ相当額 (百万)
CAB	US29878TDH41	2020/01/08	2025/01/22	1.9%	カナダ・ドル	500	345
CAB	XS1757428088	2020/01/14	2025/01/30	0.875%	スウェーデン・クローナ	1,200	114
SAB	XS1878833695	2020/01/15	2026/05/15	0.375%	ユーロ	250	250
CAB	XS2036242803	2020/01/15	2024/11/15	0.75%	英ポンド	200	233
CAB	XS2022314467	2020/01/16	2031/11/14	0%	デンマーク・クローネ	1,500	201
CAB	AU3CB0245884	2020/01/21	2028/02/03	3.3%	豪ドル	150	93
CAB	XS2115120912	2020/03/10	2023/03/23	3.05%	ブラジル・リアル	20	4
CAB	XS2115119666	2020/03/10	2023/03/23	5.18%	メキシコ・ペソ	40.5	2
CAB	XS2115119583	2020/03/11	2023/03/23	4.13%	インド・ルピー	1,078	13
CAB	XS1980857319	2020/03/27	2042/11/14	1%	ユーロ	250	250
SAB	XS2152926064	2020/03/31	2023/05/15	0.275%	スウェーデン・クローナ	3,000	271
SAB	XS2154339860	2020/04/02	2028/05/15	0%	ユーロ	1,000	1,000
CAB	XS2159970065	2020/04/15	2023/04/24	0.625%	ノルウェー・クローネ	1,500	131
CAB	XS2159970065	2020/04/17	2023/04/24	0.625%	ノルウェー・クローネ	500	44
CAB	XS1980857319	2020/04/23	2042/11/14	1%	ユーロ	500	500
SAB	US298785JE71	2020/05/12	2030/05/17	0.875%	米ドル	1,000	919
SAB	AU3CB0272201	2020/05/12	2030/05/28	1.4%	豪ドル	350	210
CAB	XS1828046570	2020/05/18	2032/11/15	1.125%	ユーロ	500	500
CAB	XS2036242803	2020/06/03	2024/11/15	0.75%	英ポンド	400	449
CAB	XS2194790262	2020/06/18	2035/11/15	0.01%	ユーロ	1,000	1,000
CAB	XS2194790262	2020/07/30	2035/11/15	0.01%	ユーロ	300	300
CAB	XS2230650405	2020/09/08	2030/09/17	0.375%	スウェーデン・クローナ	1,600	154
CAB	US298785JH03	2020/09/15	2030/09/23	0.75%	米ドル	1,500	1,266
CAB	XS2230650405	2020/09/16	2030/09/17	0.375%	スウェーデン・クローナ	450	43
CAB	XS2236008913	2020/09/16	2022/09/25	0.32%	香港ドル	300	33
SAB	XS2154339860	2020/09/17	2028/05/15	0%	ユーロ	250	250
CAB	XS2230650405	2020/09/22	2030/09/17	0.375%	スウェーデン・クローナ	950	92
CAB	XS2194790262	2020/09/30	2035/11/15	0.01%	ユーロ	500	500
CAB	XS1980857319	2020/10/06	2042/11/14	1%	ユーロ	500	500
SAB	US298785JJ68	2020/10/14	2027/10/21	0.625%	米ドル	1,000	850
CAB	XS2231174140	2020/10/19	2023/10/27	3.25%	ブラジル・リアル	21.65	3
CAB	XS2231175469	2020/10/20	2023/10/27	3.76%	インド・ルピー	342	4
2020年合計*							10,523

\*2020年10月27日現在



## 調達資金の用途

EIBでは適格融資に対する調達資金の配分において、先入先出法の原則を適用しています。

CABによる調達資金は、気候変動緩和に実質的に貢献する活動に対するEIBの融資に割り当てられます。

### CABによる調達資金の用途（2020年1-6月期）

未監査データによれば、2020年1-6月期では46億ユーロが24か国、77のプロジェクトに配分されました。このうち、39億ユーロはEU加盟国内の67のプロジェクトに、また7億ユーロはEU域外の9か国、10プロジェクトに配分されました。

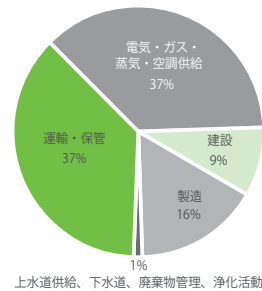
SABによる調達資金は、環境的および社会的な持続可能性の諸目標に実質的に貢献する活動に対するEIBの融資に割り当てられます。

### SABによる調達資金の用途（2020年1-6月期）

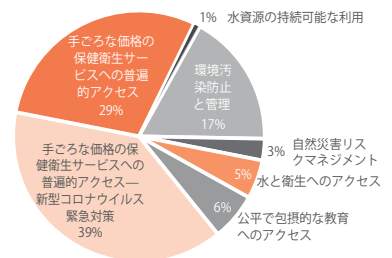
未監査データによれば、2020年1-6月期に12億ユーロが22か国、33のプロジェクトに配分されました。このうち、10億ユーロはEU加盟国内の23のプロジェクトに、また2億ユーロはEU域外の10か国、10のプロジェクトに配分されました。

配分の詳細な報告はEIBのウェブサイトから入手できます（最終ページの「資料」欄をご覧ください）。数字は2020年1-6月期の未監査データに基づいています。

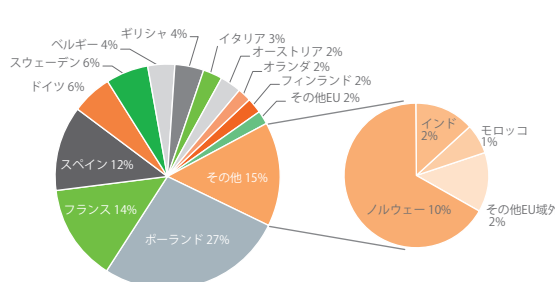
CABセクター別分配比率



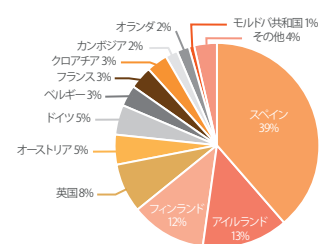
SAB目標別分配比率



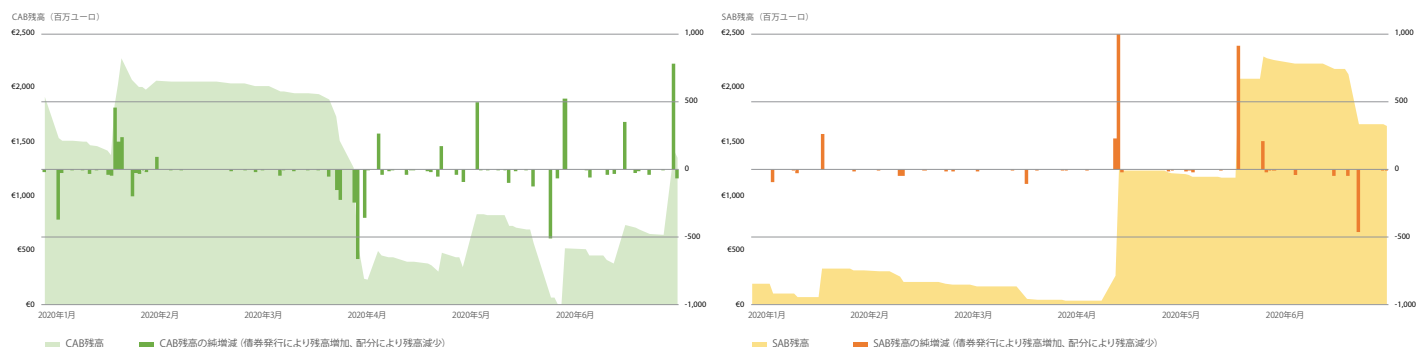
CAB国別分配比率



SAB国別分配比率



## CABおよびSABポートフォリオ残高



## 調達資金の管理

2019年末時点において、CABポートフォリオに計上された未配分の調達資金残高は19億ユーロでした。46億ユーロの融資実行と40億ユーロの新規発行による純調達額があり、2020年6月末時点のポートフォリオ残高は約13億ユーロとなっています。2019年末時点において、SABポートフォリオに計上された未配分の調達資金残高は2億ユーロでした。12億ユーロの融資実行と27億ユーロの新規発行による純調達額があり、2020年6月末時点のポートフォリオ残高は17億ユーロとなっています。

SABによる調達資金はCABによる調達資金とは分別管理されますが、同じ原則に従っています。つまり、EIBの資金調達勘定内における運用マネーマーケット・ポートフォリオのサブポートフォリオとして管理されます。これは、グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティボンド・ガイドラインに準拠しています。

# EIB: 欧州連合の気候銀行

## グリーンな復興とEUタクソミーの採択

EIBグループは欧州委員会とともに新型コロナウイルスからの復興を支援し、また持続可能な金融および「EU持続可能性に関するタクソミー」を主要な構成要素とする欧州グリーンディールの実現を支援しています。

EUの新型コロナ対策パッケージ全体の中には、4月に合意された5,400億ユーロの緊急救済パッケージが含まれており、その一部としてEIBグループは汎欧州保証基金（EGF）を運営しています。EGFは8月24日に設立され、EIBの資本の95%以上に相当する加盟国の保証によって支えられています。欧州経済の屋台骨である中小企業に特化したこの基金は、加盟国から最大250億ユーロの保証を得ることで実現したもので、EIBによって展開されており、保証やベンチャーキャピタルなど幅広い手段を通して最大2,000億ユーロまで資金を提供することができます。

EIBグループは、欧州理事会が将来の**多年度財政枠組み（MFF）**について重要な合意に達したことを歓迎しています。この1兆743億ユーロのMFFは、今後のEUの財政枠組み全体を明確にするものです。この中で、EIBが（EUの銀行部門として）欧州委員会と共同で関与する政策、プログラム、優先分野などが定められています。

「次世代のEU（NGEU）」復興基金7,500億ユーロが承認されたことも歓迎します。

NGEUは、直近の危機での加盟国に対する支援および復興の後押しのためにEU資源を追加できるようにする一方で、長期的な戦略にも焦点を当てています。NGEUの30%は、グリーンボンドで資金を調達する予定です。

重要なのは、NGEUがグリーンやデジタルへのトランジション（移行）、そしてレジリエントな（回復力のある）欧州という観点から構想されているという点です。NGEUの「グリーン化」の一例として、**EIBが主に運営する「インベストEU」という制度**があり、持続可能なインフラ、RDI（研究・開発・革新）、中小企業、社会的投資に対する1兆ユーロの支援を目指しています。インベストEUは復興計画に関連してアップグレードされ、持続可能なインフラに関する気候・環境目標を60%に引き上げました。またインベストEUは、支援対象の投資が及ぼす環境的、社会的、気候的影響の特定とこれらへの対処を確実にするという、いわゆる「持続可能性ブルーピング」を提供します。

欧州委員会の「持続可能な金融に関する技術専門家グループ（TEG）」は3月、気候変動緩和と適応に関する**EUタクソミーの最終報告書**およびEUグリーンボンド基準の利用ガイドを公表しました。両報告書はともに、持続可能な投資へ向かう資金の流れを加速度的に増加させることを目的とする、「持続可能な成長への資金供給に関するEU行動計画」の主要な柱です。

欧州議会は2020年6月18日、**いわゆるタクソミー規則を採択しました**。この規則は、グリーンで持続可能なプロジェクトに対する民間セクターの投資を押し上げることによって欧州グリーンディールに貢献すると期待される法令の重要な一部を構成しています。同規則は7月に施行されました。欧州委員会は2020年11月、タクソミー規則に基づくより詳細な基準を示した**委任法令案**を発表し、パブリックコメントの募集を開始しました。

TEGの任務は2020年9月で終了しました。その後継機関である**持続可能な金融に関するEUプラットフォーム**が活動を始めています。同プラットフォームはEIBグループを含む官民の専門家から構成される助言機関であり、主に4つの任務を担っています。

1. EUタクソミーの技術的スクリーニング基準に関して、基準の有用性を含め、欧州委員会に助言すること。
2. タクソミー規則の見直しについて、また社会的目標や環境に著しい悪影響を及ぼす活動など他の持続可能性目標を対象とすることについて、欧州委員会に助言すること。
3. 持続可能な投資に向けた資金の流れをモニターし、報告すること。
4. より広範な観点から持続可能な金融政策について欧州委員会に助言すること。

### EIB気候銀行ロードマップ 2021-2025

気候銀行ロードマップ（CBR）に関する**ステークホルダー参画プロセス**が2020年3月に開始され、利害関係者は当行の気候ロードマップに貢献できるようになりました。そこでEIBは、オンラインや3月と6月に開催したバーチャル会議を通じて、その挑戦的目標を最もうまく達成する方法について意見を求めました。

現在進行中の作業の多くは、パリ協定への適合という観点からの（EIBグループのすべての業務に関する）**定義、基準、閾値の決定**、および近く制定予定の「EU持続可能性に関するタクソミー」への適合に集中しています。「パリ協定への適合」は、「(i) 低水準の温室効果ガス排出および (ii) 気候変動に対してレジリエントな開発という2つの目標に向かう道筋と資金の流れとを一致させること」を要求しています。これはEUに関して言えば、**2050年までにネット・ゼロ排出を達成する**という目標との一致を意味します。

CBRは、11月11日にEIB理事会で採択されました。



「新型コロナウイルスは私たちが抱える唯一の危機ではありません。気候と環境の緊急事態は、こうして私たちが話している間でも生命を奪っており私たちはこの事態に至急立ち向かう必要があります。本日、当行はEIBグループ気候銀行ロードマップに合意しました。このロードマップは、気候の緊急事態に対して今後数年間に実施する1兆ユーロの対策について詳述しています。これは、脱炭素、そしてグリーンでレジリエントな、かつ社会的に包摂的な経済への道を先導している欧州の役割に大きく貢献するものです」

ヴェルナー・ノイヤー  
欧州投資銀行総裁

## EIBのグリーン・エネルギー・ローン — Vasakronan社

EIBは2020年6月、スウェーデンのVasakronan社に対し、グリーン・エネルギー・ローンとして20億スウェーデン・クローナを融資しました。この**ローン・ファシリティ**は、スウェーデン各地で不動産を5か所建設、改築するのを支援します。これらの不動産は、エネルギー消費を最適化し、二酸化炭素排出量の削減に貢献する見通しです。これらの建物は1プロジェクトを除きすべて、環境面でLEEDプラチナ認証を取得する予定で、残る1プロジェクト（Nöten）はLEEDゴールド認証を取得する予定です。

EIBのグリーン・エネルギー・ローンは、企業が持続可能性戦略や脱炭素化戦略を実施するのを後押しします。EIBによるグリーン・エネルギー・ローンの対象として適格となるためには、そのプロジェクトがその時点でCAB資金から配分を得る資格を有している必要があります。これによってEIBのグリーン・ローンと資金調達とが結び付くことになります。EIBは、気候変動対策を支援する長い歴史の中でこの種の多くのプロジェクトに融資してきましたが、グリーン・エネルギー・ローンと銘打った当行のローンは2018年12月に開始されました。このローンは、2021年1月から導入される当行の新たな気候変動対策基準および環境的持続可能性基準に沿ったより広い適格範囲に対応するため、さらに拡張されようとしています。したがって、EIBはこの新グリーン・エネルギー・ローンによって、（エネルギー・セクターのプロジェクトに限らず）はるかに幅広いセクターやプロジェクトを支援することが可能になります。融資だけでなく将来的には債券をも含む予定のこの新しいグリーンな負債性商品は、EUグリーンボンド基準とグリーンローン原則の利用を促すとともに、グリーン投資を追跡調査する枠組みとしてEUタクソミーが市場でより広範に活用されるのを支援します。



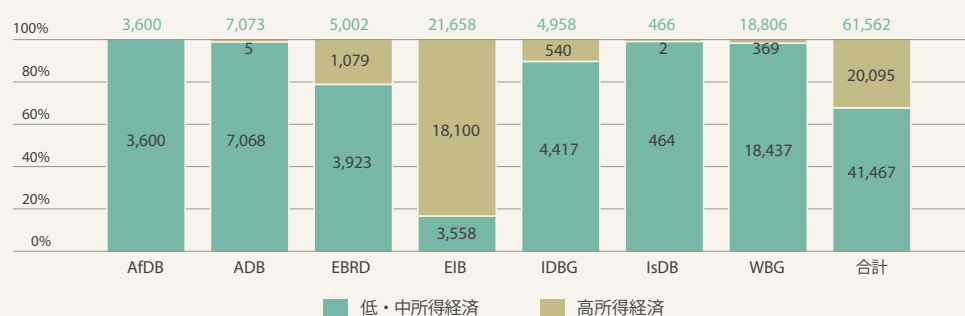
## 国際開発金融機関の気候関連ファイナンスに関する共同報告書2019

2020年以降、国際開発金融機関（MDBs）は、気候関連ファイナンスに関する報告の対象を発展途上国や新興国の経済だけに絞らず、その事業を展開しているすべての国に拡大します。この報告手法の変更は、報告の透明性と包括性を高めることを目的としています。同報告は経済所得水準別の内訳も含みます。

改定後の手法に従った**最初の報告書**によると、2019年に気候関連ファイナンスの4分の3にあたる466億

米ドルが、有害な温室効果ガスの排出低減と地球温暖化の抑制を目的とする気候変動緩和への投資に向けられました。このうち約60%は、低・中所得国の経済に向けられています。残りの150億米ドルは適応への取り組みに投資され、干ばつの悪化や異常気象の増加など気候変動による影響の増大に対しレジリエンス（回復力）を構築しようとする各国の取り組みを支援しました。気候適応に関連したファイナンスの90%以上は、低・中所得国の経済に向けられました。

2019年MDBsが事業展開する諸国におけるMDB気候関連ファイナンス・コミットメントの総額（百万米ドル）



## NGFSのガバナンスの改正—ECBが運営委員会に参加

気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク（以下、**NGFS**）は、2017年12月にパリで開催された気候変動サミット（One Planet Summit）において8か国の中央銀行と監督当局によって設立されました。その後、2020年9月半ば時点で、NGFSは72機関のメンバーと13機関のオブザーバーによって構成されています。**EIBはオブザーバーとしてこのグループに参加しています。**

NGFSは監督、気候シナリオ分析、グリーンファイナンス拡大に関する取り組みを今後2年間続けていく予定です。NGFSは、現在マイクロファイナンスとマクロファイナンス、そしてEIBが市場活性化の点で貢献したグリーンファイナンスの拡大という3つの取り組みを進めていますが、これらとは別に新たにデータ・ギャップへの対処とリサーチという2つの取り組みを始めました。2020年9月、**NGFSの議長にオランダ中央銀行のフランク・エルダーソン氏が任期2年で再任されました。**

2020年9月、NGFSは新たな憲章を公表しました。同憲章は、このネットワークの目標に照らしNGFSのガバナンス枠組みの妥当性を確保するために定期的に実施されているレビューの成果です。この新憲章は今後長く、NGFSに堅固なガバナンスを提供するでしょう。このレビューの重要な成果として、**NGFSの執行機関である運営委員会が拡大され、欧州中央銀行がこれに加わりました。**クリスティーヌ・ラガルドECB総裁は、「気候変動は私たち全員に影響を及ぼす地球規模の課題です。『気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク』の執行機関への参加は、ECBがパートナーの皆様とともに積極的な役割を担っていくという決意を明確に示すものです」と述べています。

## GEEREF—クリーン・パワーへの契機

GEEREF（グローバルエネルギー効率・再生可能エネルギー基金）は、再生可能エネルギーやエネルギー効率に重点を置くプライベート・エクイティ・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。同基金はプライベート・エクイティ・ファンドに資本（リスク・ファイナンス）を提供し、これを受けてこれらのファンドはトランジション（移行）中の発展途上国・経済で、再生可能エネルギー（オングリッドまたはオフグリッド）やエネルギー効率に関わる中小プロジェクトの開発や実施のために資金を提供しています。

GEEREFは2019年5月にその投資期間を終了し、現在は投資資金をすべて使い切った状態です。2019年末時点で、GEEREFはそのポートフォリオに15のファンドを保有しており（うち、14は現在も活動中）、OECDのDAC（開発援助委員会）リストに記載されたアフリカ、アジア、中南米、カリブ海諸国の各国における再生可能エネルギーやエネルギー効率に関わる市場の開発と拡大に貢献しています。同基金の投資を受けたこれらのファンドは、再生可能エネルギーやエネルギー効率に関わる総計約150の対象プロジェクトを開発してきました。GEEREFが投資するファンドは、風力、太陽（太陽光、太陽熱）、地熱、水力、バイオマスを使ってクリーン・パワーを生み出すインフラ・プロジェクトに重点を置いています。GEEREFは、およそ30億ユーロの資金を動員しました。GEEREFの成功を継続するため、EIBは現在これに続くファンド・オブ・ファンズのヴィークル組成に取り組んでいます。

**インパクト（影響）指標：**2019年にGEEREFの対象ファンドは、異なる段階にある開発途上国において新たなクリーン・エネルギーの設備容量を約3GW\*保有していました。運営プロジェクト（資金を撤退したプロジェクトを含む）は2019年に3,847GWh\*を発電し、152GWh\*を節電しました。これは270万以上の家庭のエネルギー消費量に相当します\*。GEEREFの運営プロジェクト（ファンドが資金を撤退したプロジェクトを含む）は、2019年にCO2換算で年間約250万トンの気候変動緩和効果を上げました。最新のGEEREFインパクト報告書は、[www.geeref.com](http://www.geeref.com)で入手できます。

# 既発行のCABおよびSAB\*

種類	ISIN	発行日**	満期日	利率	通貨	発行額(各通貨・百万)***	ユーロ相当額(百万)***
CAB	XS0301665310	2007/07/02	2012/06/28	該当せず	ユーロ	600	600
CAB	XS0465397882	2009/11/03	2015/02/17	(変動利付債)	スウェーデン・クローナ	550	52
CAB	XS0465397619	2009/11/03	2015/02/17	2.95%	スウェーデン・クローナ	2,400	241
CAB	XS0484564215	2010/01/28	2016/03/16	0.50%	ブラジル・レアル	60	15
CAB	XS0487618448	2010/02/23	2015/03/16	8%	ブラジル・レアル	303	123
CAB	XS0487617986	2010/02/24	2014/03/17	7.43%	南アフリカ・ランド	86	8
CAB	XS0487618950	2010/02/24	2014/03/17	4.83%	豪ドル	18	12
CAB	XS0505728039	2010/04/28	2012/05/24	4.27%	豪ドル	231	161
CAB	XS0505727734	2010/04/28	2013/05/29	6.68%	南アフリカ・ランド	1,375	140
CAB	XS0553796375	2010/10/25	2013/11/21	6.62%	トルコ・リラ	170	86
CAB	XS0773059042	2012/04/10	2019/04/23	3%	スウェーデン・クローナ	3,750	428
CAB	XS0852107266	2012/10/31	2023/11/13	2.75%	スウェーデン・クローナ	2,175	237
CAB	LU0953782009	2013/07/11	2019/11/15	1.38%	ユーロ	3,000	3,000
CAB	XS0955018261	2013/07/17	2020/07/24	(変動利付債)	スウェーデン・クローナ	1,800	203
CAB	XS0994434487	2013/11/07	2017/09/15	6.75%	南アフリカ・ランド	2,300	164
CAB	CH0233004172	2014/01/08	2025/02/04	1.63%	スイス・フラン	350	283
CAB	XS1041094118	2014/02/26	2018/03/12	7.75%	南アフリカ・ランド	500	35
CAB	JP500103AE31	2014/03/03	2039/03/25	PRDC	日本円	5,000	36
CAB	XS1051861851	2014/03/26	2020/03/07	2.25%	英ポンド	1,800	2,375
CAB	XS1107718279	2014/09/03	2026/11/13	1.25%	ユーロ	1,800	1,800
CAB	US298785GQ39	2014/10/08	2024/10/15	2.50%	米ドル	1,000	794
CAB	XS1198278175	2015/02/26	2019/03/27	8.50%	トルコ・リラ	275	84
CAB	XS1280834992	2015/08/20	2023/11/15	0.50%	ユーロ	2,050	2,050
CAB	XS1314336204	2015/11/05	2020/11/05	1.25%	カナダ・ドル	500	342
CAB	XS1317148580	2015/11/13	2029/05/18	株式リンク	ユーロ	500	500
CAB	XS1346202184	2016/01/11	2021/01/20	0.63%	スウェーデン・クローナ	1,000	108
CAB	US298785HD17	2016/04/06	2026/04/13	2.13%	米ドル	1,500	1,319
CAB	XS1490971634	2016/09/09	2021/09/16	1.13%	カナダ・ドル	500	343
CAB	XS1500338618	2016/09/28	2037/11/13	0.50%	ユーロ	1,250	1,250
CAB	XS1551293019	2017/01/11	2022/07/19	0.50%	スウェーデン・クローナ	3,000	314
CAB	XS1572222526	2017/02/21	2027/03/02	1.50%	スウェーデン・クローナ	2,500	260
CAB	US298785HM16	2017/05/17	2027/05/24	2.38%	米ドル	1,500	1,346
CAB	XS1641457277	2017/06/28	2047/11/15	1.50%	ユーロ	1,250	1,250
CAB	AU3CB0245884	2017/07/25	2028/02/03	3.30%	豪ドル	1,550	1,000
CAB	AU3CB0249787	2018/01/03	2023/01/12	2.70%	豪ドル	750	488
CAB	US298787CX00	2018/01/10	2023/01/18	2.38%	カナダ・ドル	700	468
CAB	XS1757428088	2018/01/17	2025/01/30	0.88%	スウェーデン・クローナ	3,000	297
CAB	XS1811852109	2018/04/18	2025/06/13	2.88%	米ドル	1,500	1,211
CAB	XS1828046570	2018/05/22	2032/11/15	1.13%	ユーロ	1,000	1,000
SAB	XS1878833695	2018/09/06	2026/05/15	0.38%	ユーロ	1,250	1,250
CAB	XS1980857319	2019/04/04	2042/11/14	1%	ユーロ	1,750	1,750
CAB	XS1998795535	2019/05/13	2029/11/15	2.88%	ポーランド・ズロチ	1,000	232
CAB	AU3CB0263945	2019/05/28	2024/11/15	1.70%	豪ドル	400	248
CAB	XS2022314467	2019/06/27	2031/11/14	0%	デンマーク・クローネ	4,500	603
CAB	XS2036242803	2019/07/30	2024/11/15	0.75%	英ポンド	1,400	1,556
SAB	XS2052474678	2019/09/09	2026/09/21	0.13%	スウェーデン・クローナ	2,000	187
CAB	US298785JA59	2019/10/02	2029/10/09	1.63%	米ドル	1,000	913
CAB	US298787TDH41	2020/01/08	2025/01/22	1.90%	カナダ・ドル	500	345
CAB	XS2115119666	2020/03/10	2023/03/23	5.18%	メキシコ・ペソ	41	2
CAB	XS2115120912	2020/03/10	2023/03/23	3.05%	ブラジル・レアル	20	4
CAB	XS2115119583	2020/03/11	2023/03/23	4.13%	インド・ルピー	1,078	13
SAB	XS2152926064	2020/03/31	2023/05/15	0.28%	スウェーデン・クローナ	3,000	271
SAB	XS2154339860	2020/04/02	2028/05/15	0%	ユーロ	1,250	1,250
CAB	XS2159970065	2020/04/15	2023/04/24	0.63%	ノルウェー・クローネ	2,000	175
SAB	AU3CB0272201	2020/05/12	2030/05/28	1.40%	豪ドル	350	210
SAB	US298785JE71	2020/05/12	2030/05/17	0.88%	米ドル	1,000	919
CAB	XS2194790262	2020/06/18	2035/11/15	0.01%	ユーロ	1,800	1,800
CAB	XS2230650405	2020/09/08	2030/09/17	0.38%	スウェーデン・クローナ	3,000	289
CAB	US298785JH03	2020/09/15	2030/09/23	0.75%	米ドル	1,500	1,266
CAB	XS2236008913	2020/09/16	2022/09/25	0.32%	香港ドル	300	33

合計発行額386億ユーロ(うち309億ユーロが残高)

2020年10月27日現在 \*\*初回発行日 \*\*\*追加発行を含みます。



# ビオンテック社のワクチン開発

2020年6月、EIBとビオンテック社（ナスダック：BNTX、以下「BioNTech」）は、同社の新型コロナワクチン・プログラムBNT162の開発を支援するため1億ユーロのデット・ファイナンス契約を締結しました。この契約によって、同社はパンデミックに対応して世界中に素早くワクチンを供給するため製造能力を拡張することが可能になりました。

BioNTechは、臨床試験の成功を確認した世界初の企業となりました。また同社は臨床試験を開始した欧州初の企業であり、4月にドイツで臨床試験を開始し、続いて5月初めに米国で開始しました。BioNTechのBNT162開発プログラムは、4種のワクチンを並行してテストするという世界で最も広範な開発プログラムの一つです。



EIBのデット投資は、あらかじめ定められたマイルストーンの完了に合わせて、5,000万ユーロずつ2回に分けて実施される予定です。この投資は、欧州投資計画の金融面の心臓部に当たる欧州戦略投資基金によって支えられています。同基金のもとで、EIBと欧州委員会は提携してEUの優先的プロジェクトに対する投資を実施しています。また本件は、EUにおける研究・イノベーションのためのフレームワークであるホライズン2020に支えられたInnovFinコーポレート・リサーチ・エクイティからも支援を受けています。

BioNTechはすでに2019年12月に同社の個別化癌免疫治療プログラムにつき、欧州成長ファイナンス・ファシリティに基づく5,000万ユーロのベンチャー・デット契約を結んでいました。この融資は、生命科学分野におけるEIBの広範な活動の一部として実施されました。生命科学産業では過去4年間に、欧州企業約50社が合計13億ユーロの資金を調達しました（これらの資金は欧州戦略投資基金により支えられています）。

**気候債券イニシアチブは、過去10年間ににおいて開発金融機関最大のグリーンボンド発行体であったとしてEIBを表彰しました。**第5回年間グリーンボンド・パイオニア賞は、グリーン・ファイナンスにおける最良のプラクティスやイノベーションを国際的に認知する最高の賞であり、グリーンボンドやグリーンローン、そして気候やトランジション（移行）に関する投資の重要な市場的発展を網羅しています。EIBの持続可能性に関する資金調達部門の責任者であるアルド・ロマーニは次のように述べています。「EIBは、2007年にグリーンボンド市場を発足させました。それ以来、気候変動への認知度を高めるための債券と持続可能性への認知度を高めるための債券を複数の通貨で300億ユーロ以上発行し、調達資金使途文書を最近採択された欧州連合タクソノミー規則に準拠させてきました。CABとSABIは欧州連合の持続可能性目標を支持しており、適格範囲の段階的拡大を通じて、EIBの融資活動のEUタクソノミーへの準拠を資本市場へ反映させています。このような賞をいただき、大変うれしく思います」



## 初のSAB枠組みを公表

SAB枠組みは、外部審査（KPMGによる独立した合理的な保証（国際監査基準3000）の監査）の実施を「気候変動への認知度を高めるための債券」からSABへと拡大するものです。この文書は、EUタクソノミー規則に関連したEIBの今後の行動を明確に示しています。とりわけEIBの経営陣はSABの内部基準を、欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準および将来のいかなる「EUソーシャルボンド基準」にも段階的に準拠させていく予定です。SABは2018年に、当初は水プロジェクトに焦点を当てて発行されました（配分報告とインパクト報告はこの最初のSAB枠組みに含まれています）。その適用範囲は2019年後半に保健衛生と教育のプロジェクトに拡大されました（配分報告とインパクト報告は来年のSAB枠組みに追加される予定です）。

## CAB枠組み2019の公表

### 主なポイント



#### 金融面

- ✓ 規模：現在までで国際機関最大（337億ユーロ）のグリーンボンド発行体。2020年の発行額は過去最高（12通貨、68億ユーロ）
- ✓ 流動性：コア市場（ユーロ、米ドル）およびローカル市場（スウェーデン・クローナやデンマーク・クローネなど）でベンチマーク債規模の発行
- ✓ ユーロ建てグリーン・イールドカーブ：最長2047年までの償還期限で8か所の参照ポイント
- ✓ プロジェクトごとではなくEIBに対する信用リスク：CABはシニア無担保債で他のEIB債と同格に扱われます

#### 透明性と説明責任

- ✓ グリーンボンド原則に準拠
- ✓ 適格性：持続可能な金融に関するEU法令（策定中）に沿って気候変動緩和に実質的に貢献するプロジェクト
- ✓ クオリティ：専門家が、厳しいEU基準に沿うプロジェクトのデューデリジェンスを実施
- ✓ 透明性：調達資金の使途および環境へのインパクトに関する詳細な報告
- ✓ 外部機関によるレビュー：KPMGによる独立性を担保した合理的な保証レポート

#### 金融面

- ✓ 規模：現在までで49億ユーロを発行。2020年初来で4通貨、38億ユーロ
- ✓ 流動性：ユーロ、米ドル、スウェーデン・クローナ建てでベンチマーク債規模の発行
- ✓ プロジェクトごとではなくEIBに対する信用リスク：SABはシニア無担保債で他のEIB債と同格に扱われます

#### 透明性と説明責任

- ✓ グリーンボンド原則（GBP）、ソーシャルボンド原則（SBP）、サステナビリティボンド・ガイドライン（SBG）に準拠
- ✓ 適格性：持続可能な金融に関するEU法令（策定中）に沿って（気候変動緩和を越えて）環境的、社会的な持続可能性目標に実質的に貢献するプロジェクト
- ✓ クオリティ：専門家が、厳しいEU基準に沿うプロジェクトのデューデリジェンスを実施
- ✓ 透明性：調達資金の使途および資金提供されたプロジェクトのインパクトに関する詳細な報告
- ✓ 外部機関によるレビュー：KPMGによる独立性を担保した合理的な保証レポート

### 資料

気候変動への認知度を高めるための債券（CAB）残高：[http://www.eib.org/en/investor\\_relations/products/type/cab/index.htm](http://www.eib.org/en/investor_relations/products/type/cab/index.htm)

持続可能性への認知度を高めるための債券（SAB）残高：[http://www.eib.org/en/investor\\_relations/products/type/sab/index.htm](http://www.eib.org/en/investor_relations/products/type/sab/index.htm)

CAB及びSABの配分報告:

[https://www.eib.org/en/investor\\_relations/documents/eib-sab-projects.htm](https://www.eib.org/en/investor_relations/documents/eib-sab-projects.htm)

[https://www.eib.org/en/investor\\_relations/documents/eib-cab-projects.htm](https://www.eib.org/en/investor_relations/documents/eib-cab-projects.htm)

EC次世代のEU：[https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip\\_20\\_940](https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_20_940)

CABおよびSABに関するプレス・リリース：[https://www.eib.org/en/investor\\_relations/press/index.htm](https://www.eib.org/en/investor_relations/press/index.htm)

#### 免責事項

本資料は情報提供だけを目的としています。また、本資料は証券購入の申出または勧誘でもなく、本資料において示される情報は、何らかの契約上またはその他のいかなる種類の義務の根拠ともならないものとします。EIBにより発行された証券は、米国証券法において登録されていない限り、米国において、または米国外にいる米国人に対して、提供または売却することができません。その他の国でも同様の制約を受けることがあります。本資料には、予想、見積り、予測および仮定に基づいた将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述は将来のパフォーマンスを保証するものではなく、予想が困難な一定のリスクや不透明性を含んでいます。実際の将来の結果やトレンドはこうした見通しに関する記述で予想された内容と大幅に異なることがあります。本資料は、公表日現在に限定されたものであり、EIBには公表日以降に発生した事象、状況または予想の変更を反映させるよう本資料を更新する義務はありません。

#### European Investment Bank

Investor Relations

98-100, boulevard Konrad Adenauer

L-2950 Luxembourg

[investor.relations@eib.org](mailto:investor.relations@eib.org)

☎ (+352) 43 79 - 53000

[http://www.eib.org/investor\\_relations/cab/index.htm](http://www.eib.org/investor_relations/cab/index.htm)